



わかば通信

Vol. 01
2022年6月

当院の新人看護職員ががんばっている姿をお伝えします。

新人キャリア発達支援科



基礎看護技術研修で仲間づくりと実践力アップ!

今年度は63名の新人が仲間入り。4月の中旬に5日間、基礎看護技術研修を行いました。部署も卒業校も違うメンバーがグループになって行きます。初日は「感染対策」「バイタルサイン・コミュニケーション」「体位変換・移送」。N95マスクのつけ方に戸惑ったり、患者役の研修生への声かけもなんだかぎこちない様子です。研修が進むと「採血」「点滴静脈内注射」など針を扱う技術を学びます。注射針を刺す時は緊張しますが、メンバーが血管を見て「ここがわかりやすいよ」と教えてくれるので見事成功。患者さん役への説明もすいぶん分かりやすくなりました。新しく学ぶ技術でも、それまでに学んだ事を活かすことができている。

お昼休憩は自然とグループメンバーが集まってランチタイム。食後はマスクで感染対策しながらおしゃべりが盛り上がります。研修の終わりには「またこのメンバーで研修がしたい」とリクエストがありました。

研修は仲間づくりの場でもあります。仲間同士ならうまくできなくてもOK。助け合いながら学ぶことができました。

ここが
わかりや
すいよ

入った!



新人オフ会でほっと一息

毎日新しい体験にドキドキしっぱなし。仕事が終わってほっと一息の時間を「新人オフ会」と称して仲間とのおしゃべりの時間にしました。ゴールデンウィーク前の金曜日…病棟ナースとオペナースが久しぶりの対面。「来週から手洗い(手術の直接介助)やるー」と言うオペナース。「すごーい!」と興味津々な病棟ナース。話題は尽きません。「あこがれの先輩見つけた!」と嬉しそうに話す病棟ナース。先輩の姿をよく見えています。部署の雰囲気にも少しづつ慣れてきたようです。同期が集うと現場の緊張感が一気に解き放たれて、ひとしきり話すと気分もすっきり。みんな笑顔で家路につきました。

